

様式第3号(第12条関係)

会 議 録

会 議 の 名 称	第10回吉川市障がい者の地域での生活を考える検討会議
開 催 日 時	令和元年12月18日(水) 午後 2時40分から 午後 3時40分まで
開 催 場 所	吉川市役所204会議室
出席委員(者)氏名 (名簿順標記)	星座委員、蘆委員、野口委員、杉浦委員、鈴木委員、 佐竹委員、金井委員、濱本委員、小嶋委員、加島委員
欠席委員(者)氏名	互委員、柳澤委員、糸井委員
担当課職員職氏名	こども福祉部 伴部長 障がい福祉課 加藤課長、砂川係長、鈴木主事
会議次第と会議の公開 又は非公開の別	1 開会 2 あいさつ 3 議事 4 その他 5 閉会 会議は公開とする
非公開の理由 (会議を非公開にした場合)	—
傍聴者の数	1名
会議資料の名称	資料 「障がい者の地域での生活を考える検討会議」アンケート調査のお願い
会議録の作成方法	<input type="checkbox"/> 録音機器を使用した全文記録 <input checked="" type="checkbox"/> 録音機器を使用した要点記録 <input type="checkbox"/> 要点記録
会議録確認指定者	佐竹委員、金井委員
その他の必要事項	なし

1 開会

2 あいさつ

委員の変更等があり改めて自己紹介を行う。

3 議事

(1) 視察を終えての感想

【視察施設】

ココ・ファーム・ワイナリー (こころみ学園)

【感想】

- ・「重度の障がいがあるから出来ない」ではなく「出来ることを出来る範囲で継続してやる」ことが重要だと感じた。
- ・一生懸命働く・働ける環境が良かった。
- ・半世紀努力してきた成果だと感じた。
- ・自然に囲まれた素晴らしい環境であった。吉川市とは環境が違う(山が無い)ので、どう展開していくのかを考える必要がある。
- ・先見性、持続性に感銘を受けた。吉川市でも先を見越した継続性のあることをやる必要があると感じた。
- ・これだけ大規模な事業所であっても、自立した生活が送れる賃金ではないことに課題も感じた。
- ・最高齢が89歳。長いスパンで考えると、どう看取るかという問題も出てくる。

市長) 4年前に視察に行ったときに「これだ!」と感じた。吉川市には山が無いという感想もあったが、吉川市にはなまずがある。なまずを養殖して、加工して、レストランを作って、こころみ学園に対抗できると考えている。なまずに餌をあげる、なまずをさばく等々、障がい者が携われる仕事が必要。皆で協力して、ココ・ファーム・ワイナリーのような施設を吉川市でも造り上げましょう。

(2) アンケート調査について

事務局より資料に基づき説明。

事務局) 調査実施は来年1月から3月を予定している。就労とグループホームに関する調査であるため、65歳以上の方や内部障がいの方は調査の対象外とする。アンケートの内容はまだ検討段階ではあるが、今後の方向性を導ける内容にしたいと考えている。ご意見をいただきたい。

委員) 記名式で行うのか。収入についての質問もあるので記名は難しいのではないか。

事務局) 記名式で行いたいと考えているが、ご指摘のとおり難しい点もあるので現在調整中である。

【就労アンケートについて】

委員) 収入は各種手当、年金を含んだ金額なのか工賃のみなのか不透明。

委員) 18歳未満であると就労や収入については関係がない。者と児は分けたほうがいいのではないか。

委員) 保護者として就労の希望はあるが、実際はできない現実もある。そういった子でも書きやすいものにしてほしい。

委員) 「こんなことをやってる・こんなものがあるといいな」という希望を書ける項目が必要。

【GHアンケートについて】

委員) 問1や2では回答が同じような内容であり、重複してしまうため内容の変更が必要ではないか。

委員) 調査の対象が保護者なのか当事者なのか文面からは伝わらない。

委員) 身体・知的・精神それぞれで回答方法が変わるのではないか。

委員) 単身の障がい者も多いと思うが、そういった方が回答できる設問がない。

委員) 「気心しれた仲間」という表記があるが、表現方法を変えたほうがよい。

市長) 今回いただいた意見を参考にもう一度案を作成し、委員の皆さまに提示することを事務局にお願いする。

4 その他

事務局) 今年度の会議は本日で終了となります。アンケートの案は、郵送で皆さんに意見を伺いたい。

5 閉会

以上、会議の内容に相違ない事を証するため、ここに署名する。

令和2年3月2日

署名委員 佐竹 美保子 (自署)

署名委員 金井 玲 (自署)